



# 絵のぐをつかって あらわそう

## 色をまぜる



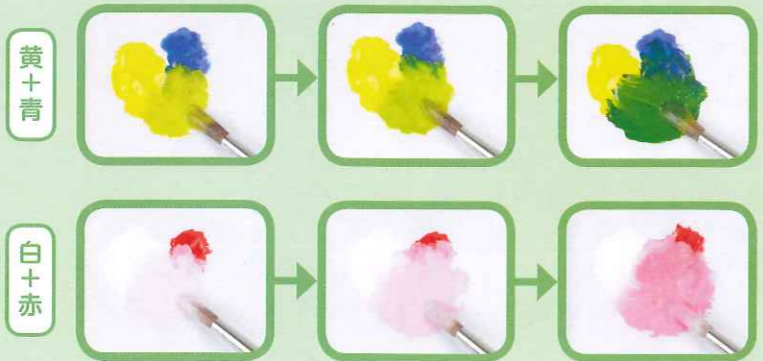
絵のぐを小さいへやからとって、大きいへやにうつす。



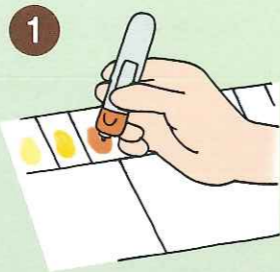
まぜたい色を小さいへやからとって、大きいへやにうつす。



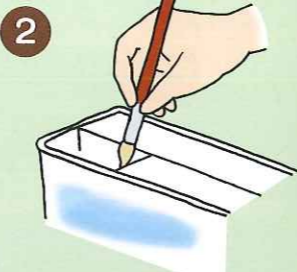
少しずつまぜて、自分がつきたい色をつくろう。



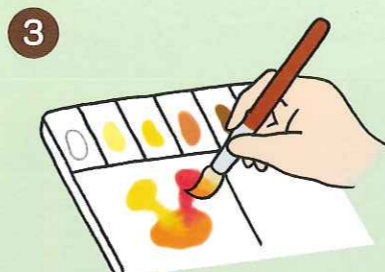
## 絵のぐをつかってかく



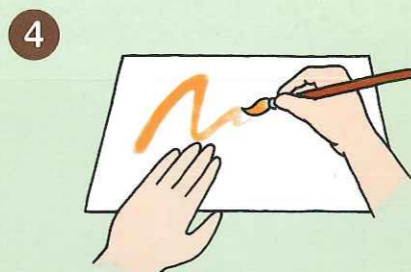
パレットの小さいへやに絵のぐを出す。



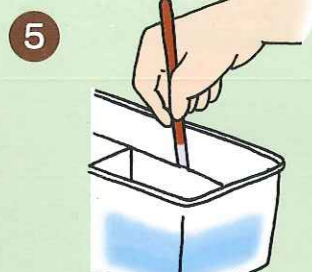
ふてに水をつける。水のりょうをちょうせつする。



水でうすめたりほかの色とまぜる時は、大きいへやをつかう。



かく。



ほかの色をつきたい時は、ひっせんてふてをあらう。



## ひっせんのつかい方

ひっせんは、ふてに水をつけたりあらったりする用ぐ。

水がよごれたら、とりかえよう。

### つけ水

せまいへやの一つは、きれいな水をつけるところ。

### あらい水

広いへやでふてをあらう。

### すすぎ水

ふてをあらい水であらったら、すすぎ水でよくすすぐ。



水を入れるへやの大きさが同じひっせんは、あらい水・すすぎ水・つけ水のへやをきめてつかおう。

## 水のちょうせつ

ふてにつけた水は、ひっせんのふちでしごいたり、ぞうきんでふいたりして、ちょうせつしよう。



## かたづけ



パレットをあらう時は、ひっせんの水をつかうとよい。